

2021 年度 事業報告

目 次

はじめに	1 頁
I. 評価事業	3 頁
1. 諸基準の設定及び改定	3 頁
2. 機関別認証評価	3 頁
3. 専門職大学院認証評価	6 頁
4. 分野別評価	10 頁
II. 調査研究事業	12 頁
1. 大学評価に関する調査研究	12 頁
2. 大学評価研究所の活動	12 頁
3. 文部科学省の諸審議会等への対応	13 頁
4. 所蔵資料のアーカイブズ化への取組み	13 頁
III. 国際化事業	14 頁
1. 海外の質保証機関との交流等の推進	14 頁
2. 共同認証	14 頁
3. 海外への情報発信及び国際会議への参加	14 頁
4. INQAAHE の GGP アラインメントの受審準備	14 頁
IV. 法人運営関連事業	16 頁
1. 正会員資格判定	16 頁
2. 広報	16 頁
3. 本協会職員等の資質向上に向けた取組み	17 頁
4. 本協会の組織体制の強化に向けた取組み	17 頁
5. 事業サポートの強化	17 頁
事業報告の内容を補足する重要な事項	18 頁
参考資料 2021（令和3）年度理事会・評議員会・委員会名簿	19 頁

はじめに

大学基準協会（以下「本協会」という。）は、その目的を定款第3条に「内外の大学に関する調査研究を行い、会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図るとともに、大学の教育研究活動等の国際的協力に貢献すること」と定めている。そして、定款第4条では、この目的を達成するために、次の事業の実施を掲げている。

- 一 大学の教育研究活動等に関する第三者評価
- 二 大学の質的向上のための大学基準等の設定及び改善並びに活用
- 三 内外の大学に関する資料の収集及び調査並びに研究
- 四 大学の教育研究活動等の改善のための助言及び援助並びに情報の提供
- 五 大学の質的向上に必要な研究会及び協議会等の開催
- 六 大学の教育研究活動等に関する国際間の情報の交換並びに協力
- 七 大学の教育研究活動等に関する資料の刊行
- 八 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

本年度は、上記の目的の下、①第三者評価事業の充実、②大学の質的向上を支援する取組の実践、③大学教育の質保証に関わる調査研究の推進、④グローバル化への対応、⑤本協会の組織の強化及び効果的・効率的運営という基本的方針を設定し、これに基づき以下の通り、4事業領域に亘る事業を多角的に実施した。なお、セミナー等については、WEB会議システムを用いた形式で行うなど、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、可能な限り事業計画に基づいて事業を推進した。

I. 評価事業

1. 諸基準の設定及び改定
2. 機関別認証評価
 - (1) 認証評価、再評価及び追評価
 - (2) 改善報告書の検討
 - (3) 説明会等の取組み
3. 専門職大学院認証評価
 - (1) 認証評価
 - (2) 改善報告書等の検討
 - (3) 重要な変更に対する評価の実施
 - (4) ワークショップ等の取組み
4. 分野別評価
 - (1) 獣医学教育評価
 - (2) 歯学教育評価

Ⅱ．調査研究事業

- 1．大学評価に関する調査研究
- 2．大学評価研究所の活動
- 3．文部科学省の諸審議会等への対応
- 4．所蔵資料のアーカイブズ化への取組み

Ⅲ．国際化事業

- 1．海外の質保証機関との交流等の推進
- 2．共同認証
- 3．海外への情報発信及び国際会議への参加
- 4．INQAAHE の GGP アラインメントの受審準備

Ⅳ．法人運営関連事業

- 1．正会員資格判定
- 2．広報活動
- 3．本協会職員等の資質向上に向けた取組み
- 4．本協会の組織体制の強化に向けた取組み
- 5．事業サポートの強化

I. 評価事業

評価事業としては、1. 諸基準の設定及び改定、2. 機関別認証評価、3. 専門職大学院認証評価、4. 分野別評価 の個別事業に取り組んだ。

1. 諸基準の設定及び改定

本協会は、大学の質的向上を図るために、基準委員会において今まで多くの基準を設定し、これらの見直しを定期的に行ってきた。また、各種基準の設定・改定に資するよう、今日の大学教育をめぐる課題等を検討してきた。

本年度は、経営系専門職大学院基準及び知的財産専門職大学院基準の改定を行った。また、大学評価に関しては、認証評価第4期に向けた検討に着手したほか、大学評価研究所において「効果的オンライン教育のあり方と評価基準・視点に関する調査研究」が終了したことを受け、大学基準に関わる参考資料を改訂し、その成果を反映させた。大学評価や短期大学認証評価における分野別評価の結果等の取扱いについても、効率的評価を目指してより明確になるように整理し、「機関別認証評価における分野別評価の考慮方策」のとりまとめを行った。

2. 機関別認証評価

本協会は、教育研究活動の質を社会に対して保証し、その改善・向上を継続的に支援するとともに、大学の社会的存在理由を明らかにすることに貢献し、大学の社会に対する説明責任を支援することを目的として、大学評価及び短期大学認証評価を実施している。

(1) 認証評価、再評価及び追評価

2021（令和3）年度は、大学評価に関して49大学から申請があったほか、2018（平成30）年度の大学評価で判定を保留した1大学から再評価の申請が、2019（令和元）年度に医学部医学科の入試問題を受けて判定を不適合へ変更した1大学から追評価の申請があった。また、短期大学認証評価に関しては、2短期大学から申請があった。

各評価にあたっては、大学評価委員会及び短期大学評価委員会の下に、各分科会等を設置、書面評価及び実地調査を実施した（「参考資料 2021（令和3）年度理事会・評議員会・委員会 名簿」参照）。

評価体制

種別	委員会	設置分科会	設置数	備考
大学評価	大学評価委員会	大学評価分科会	49	5部会設置
		大学財務評価分科会	1	
		再評価分科会	1	
		追評価分科会	1	
短期大学 認証評価	短期大学評価委員会	短期大学評価分科会	2	
		短期大学財務評価分科会	1	

評価の中心となる上記委員会において、評価方針及び委員会の職務を確認した。大学評価及び短期大学評価分科会の主査・委員に対する評価者研修セミナーでは、評価の趣旨及び評価方法等について説明する動画を配信するとともに、経験者による留意点等に関する講演や WEB 会議システムを利用してケーススタディを行うグループワークを実施した。そのほか、各分科会における評価者研修も適宜実施した。

各評価では、委員会及び分科会の会合について原則オンラインで実施した。実地調査についても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴いオンラインで実施したが、ビジネスチャットやメーリングリスト等を駆使しながら、公正かつ妥当な評価となるよう、各分科会等及び各委員会等において、慎重に議論を進めた。

評価スケジュール

月	内容等
4 月	評価者研修セミナーの実施
6 月～7 月	各分科会等の開催
8 月～10 月	実地調査の実施
12 月	各評価結果（委員会案）の作成及び申請大学・短期大学への同案提示
2 月	各評価結果（委員会案）に対する大学・短期大学からの意見について採否を審議

その結果、以下の 49 大学を大学基準に、1 短期大学を短期大学基準に適合していると認定した。また、再評価の 1 大学についても、大学基準に適合していると認定した。

2021（令和 3）年度 機関別認証評価の結果等 （五十音順）

種別	設置形態	大学名	判定	設置形態	大学名	判定
大学評価	私立	愛知大学	適合	私立	青山学院大学	適合
	私立	大阪歯科大学	適合	私立	神奈川大学	適合
	国法	金沢大学	適合	私立	金沢医科大学	適合
	私立	川崎医療福祉大学	適合	私立	関西医科大学	適合
	私立	近畿大学	適合	私立	金城学院大学	適合
	私立	敬愛大学	適合	私立	敬和学園大学	適合
	私立	神戸海星女子学院大学	適合	私立	神戸親和女子大学	適合
	公法	国際教養大学	適合	私立	相模女子大学	適合
	私立	札幌学院大学	適合	私立	至学館大学	適合
	公立	情報科学芸術大学院大学	適合	私立	駿河台大学	適合
	私立	聖学院大学	適合	私立	聖カタリナ大学	適合
	私立	聖路加国際大学	適合	私立	専修大学	適合
	私立	創価大学	適合	私立	園田学園女子大学	適合
	私立	拓殖大学	適合	私立	中央学院大学	適合
	私立	中京大学	適合	私立	帝塚山大学	適合
	私立	東京工芸大学	適合	私立	東京女子医科大学	適合
	私立	同志社女子大学	適合	私立	東洋大学	適合
	私立	獨協大学	適合	私立	中村学園大学	適合

	私立	新潟工科大学	適合	私立	新潟青陵大学	適合
	私立	新潟薬科大学	適合	私立	日本赤十字北海道看護大学	適合
	私立	福岡女学院大学	適合	私立	藤田医科大学	適合
	私立	武蔵大学	適合	私立	明治大学	適合
	私立	桃山学院大学	適合	私立	桃山学院教育大学	適合
	私立	流通科学大学	適合	私立	流通経済大学	適合
	私立	和洋女子大学	適合			
短期大学 認証評価	私立	中村学園大学短期大学部	適合			

* 「国法」は国立大学法人を、「公法」は公立大学法人を指す。

2021（令和3）年度 再評価の結果

種別	設置 形態	大学名	判定
再評価	私立	天理医療大学	適合

なお、追評価を申請していた日本大学及び短期大学認証評価を申請していた日本大学短期大学部においては、実地調査後、大学基準「管理運営」及び短期大学基準「大学運営」について追加調査すべき重大な事項が発覚したため、現在、審議を継続している。

大学基準及び短期大学基準に適合していると認定した50大学及び1短期大学には、結果の通知とともに、認定証及び認定マークを送付した。

また、各評価結果等は、文部科学大臣に報告するとともに、本協会ウェブサイトにおいて全文を公表した。

このほか、大学評価では、任期満了に伴い、次期大学評価委員会委員の選出を行った。

複数の認証評価機関が存在する現況において、国際的に通用する評価を目指して、各認証評価機関で異なる評価基準の水準、質保証システム全体の統一性に関する課題等について、関係者と適宜協議し、意見書を提出した。

（2）改善報告書の検討

本協会では、大学全体の改善を継続的に支援することを目的としていることから、大学評価及び短期大学認証評価で「適合」と認定した大学・短期大学に対し、各評価結果において提言した「是正勧告」（「改善勧告」）及び「改善課題」（「努力課題」）への対応状況・改善状況を、評価結果を受け取ってから3年後までに改善報告書に取りまとめて提出することを要請している。

本年度は、39大学及び4短期大学から改善報告書が提出された。

これをもとに、各改善報告書検討分科会において検討を行った後、各委員会の議論を経て「改善報告書検討結果（案）」を作成した。また、理事会での審議を経て、39大学及び4短期大学に「改善報告書検討結果」を通知した。なお、本協会の第3期目の大学評価及び短期大学認証評価を受けた改善報告書については、検討結果を公表することになっている。

る。本年度改善報告書の提出があった大学のうち、2018（平成 30）年度大学評価を受けている 1 大学（群馬県立県民健康科学大学）については、本協会ウェブサイトにおいて検討結果を公表した。

（３）説明会等の取組み

本協会では、大学評価及び短期大学認証評価の申請を予定している大学・短期大学向けに、評価の概要や、自己点検・評価の実施方法等に関する説明会等を実施している。

本年度も、以下の通り、実務説明会、スタディー・プログラム及びスタッフ派遣を実施した。

各イベント実施状況

イベント名	時期	内容等	参加者数
大学評価実務説明会及び 短期大学認証評価実務説明会	4 月	次年度評価への申請を予定している大学及び短期大学を対象に、大学基準・短期大学基準が求める内容や内部質保証の考え方、そして評価の申請に向けた準備やスケジュール等を説明するもの。前年度申請校による事例報告も実施。（動画配信）	アクセス数は以下の通り
		・ 評価プロセス・申請資格	1,017
		・ 大学基準について	675
		・ 短期大学基準について	48
		・ 内部質保証のポイント	533
		・ 点検・評価報告書の作成	360
		・ その他の資料	203
大学・短期大学 スタディー・プログラム	8 月	1 回目テーマ：「内部質保証の基本的な意味・考え方と、学部・研究科レベルの点検・評価」	各 1 日 計 454 名 (282 名＋ 172 名)
	11 月	2 回目テーマ：「学習成果の測定と教育改善—議論喚起のための〈場〉〈きっかけ〉〈コンテンツ〉—」	
スタッフ派遣	希望に応じて	将来的に大学評価・短期大学認証評価への申請を予定もしくは検討している大学や短期大学からの要請、あるいは内部質保証について理解を深めたいという大学等の求めに応じて、本協会事務局スタッフを派遣し、個別に説明するもの。	11 大学派遣 * 短期大学は派遣なし

3. 専門職大学院認証評価

本協会では、専門職大学院の質の保証と向上を目指して、以下の 9 分野の専門職大学院認証評価事業を運営しており、本年度は 6 分野の認証評価（経営、公共政策、公衆衛生、デジタルコンテンツ、グローバル法務、広報・情報）、3 分野の改善報告書等の検討（法科、経営、知的財産）、4 分野の重要な変更に対する評価（法科、経営、公共政策、知的財産）を実施した。

- | |
|---|
| ① 法科大学院認証評価
② 経営系専門職大学院認証評価
③ 公共政策系専門職大学院認証評価 |
|---|

- ④ 公衆衛生系専門職大学院認証評価
- ⑤ 知的財産専門職大学院認証評価
- ⑥ グローバル・コミュニケーション系専門職大学院認証評価
- ⑦ デジタルコンテンツ系専門職大学院認証評価
- ⑧ グローバル法務系専門職大学院認証評価
- ⑨ 広報・情報系専門職大学院認証評価

(1) 認証評価

2021（令和3）年度は、6分野7大学院から認証評価の申請と3分野の改善報告書の提出があり、分野ごとに設置している認証評価委員会の下に、各分科会を設けた（「参考資料 2022（令和3）年度理事会・評議員会・委員会 名簿」参照）。

評価体制

分野	委員会	設置分科会	設置数
法科	法務系専門職大学院認証評価委員会	改善報告書検討分科会	1
経営	経営系専門職大学院認証評価委員会	認証評価分科会	2
		改善報告書検討分科会	1
公共政策	公共政策系専門職大学院認証評価委員会	認証評価分科会	1
公衆衛生	公衆衛生系専門職大学院認証評価委員会	認証評価分科会	1
知的財産	知的財産専門職大学院認証評価委員会	改善報告書検討分科会	1
デジタル コンテンツ	デジタルコンテンツ系専門職大学院 認証評価委員会	認証評価分科会	1
グローバル 法務	法務系専門職大学院認証評価委員会	認証評価分科会	1
広報・情報	広報・情報系専門職大学院認証評価委員会	認証評価分科会	1

各委員会にあつては、認証評価の実施に先立ち、本年度の諸方針を策定・確認した。その後、評価者に対するセミナー等をオンデマンド及びWEB会議で開催し、評価の方法・内容や遵守すべき事項などの周知を図った。そして、各分科会により書面評価及び実地調査を実施した。

各分科会による評価作業が終了した後には、公正かつ妥当な評価となるよう、各委員会において慎重に議論を進め、認証評価結果（委員会案）を作成し、申請大学に送付した。つづいて、意見申立の手続を経て、各委員会において認証評価結果（案）を作成した。

評価スケジュール

月	内容等
5月～6月	評価者研修セミナーの実施 （オンデマンドでの資料提供、各分科会でのWEB会議）
7月～9月	各分科会の開催 （メール審議及び各分科会でのWEB会議）
9月～11月	実地調査の実施 （すべての申請大学院へ現地訪問し、授業見学、個別面談、学生インタビューにおいては適宜、オンラインを活用した）

12 月	各評価結果（委員会案）の作成及び申請大学院への同案提示
2 月	各評価結果（委員会案）に対する大学院からの意見について採否を審議

理事会における審議の結果、7 大学院を各専門職大学院基準に適合していると認定した。

2021（令和 3）年度専門職大学院認証評価の結果等（五十音順）

種別	設置形態	大学名	判定
経営	私立	事業構想大学院大学 事業構想研究科 事業構想専攻	適合
	私立	東京理科大学大学院 経営学研究科 技術経営専攻	適合
公共政策	私立	明治大学専門職大学院 ガバナンス研究科 ガバナンス専攻	適合
公衆衛生	国立	東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻	適合
デジタルコンテンツ	株立	デジタルハリウッド大学大学院 デジタルコンテンツ研究科 デジタルコンテンツ専攻	適合
グローバル法務	私立	慶應義塾大学大学院 法務研究科 グローバル法務専攻	適合
広報・情報	私立	社会情報大学院大学 広報・情報研究科 広報・情報専攻	適合

各専門職大学院基準に適合していると認定した 7 大学院に対しては、それぞれ認証評価結果を通知するとともに、認定証及び認定マークを送付した。また、認証評価結果に関しては、文部科学大臣への報告、文部科学省記者クラブへの情報提供、本協会ウェブサイトを通じた全文公表を行った。

なお、任期満了に伴い、4 分野（法務、経営、公共政策、知的財産）の次期委員会委員の選出を行った。

（2）改善報告書等の検討

本協会では、専門職大学院の改善を継続的に支援するために、認証評価終了後、主として下記の 2 つの取組みを実施している。

第 1 に、本協会の専門職大学院認証評価（法科大学院認証評価及び知的財産専門職大学院認証評価を除く。）では、前年度に認証評価を受審した大学院に対して、評価結果に付された提言（「勧告」及び「検討課題」）への今後の対応計画（「改善計画」及び「課題解決計画」）についてのプレゼンテーションを求め、当該大学院と認証評価委員会との相互対話を通じて、より良い改善・改革の方策を模索することを目指している。本年度は、各委員会において、2020（令和 2）年度に認証評価を実施した専門職大学院（経営：7 大学院、公共政策：1 大学院、公衆衛生：1 大学院）によるプレゼンテーションが実施され、その後に質疑応答・意見交換を行った。

第2に、適合認定を受けた大学院に対して、原則として認証評価が終了してから2年が経過した後に、認証評価結果で付された提言事項にかかる改善報告書の提出を求め、その検討を行っている。本年度は、2018（平成30）年度に認証評価を実施した専門職大学院（法科：3大学院、経営：1大学院、知的財産：1大学院）から改善報告書の提出があり、改善報告書検討分科会を設けて、この検討作業を行った。これらの検討作業の結果は、いずれも理事会の審議を経て確定した後、各大学院に通知した。

なお、2020（令和2）年度に認証評価を実施した1経営系専門職大学院に関しては、適合と認定したものの、問題を十全に改善につなげるため、その改善に向けた状況を取りまとめた報告書を毎年提出するよう要請していた。本年度、当該専門職大学院より、報告書及び関係資料の提出並びに委員会における改善計画・改善状況の報告（プレゼンテーション）があり、経営系専門職大学院認証評価委員会において検討を行った結果、改善に向けた計画を策定しているものの、改善にはこれから着手するため、次年度も改善計画の進捗について状況報告を求めることとした。

（3）重要な変更に対する評価の実施

各認証評価機関は、専門職大学院認証評価の制度下において、評価実施後に当該大学院の教育課程又は教員組織に重要な変更があった場合、その内容を把握するとともに、公表の必要があると認められる場合には、認証評価結果への付記等の措置を講じることが求められている。

本年度は、各専門職大学院（法科：6大学院、経営：2大学院、知的財産：1大学院）から本件に係る届出があり、各委員会において検討を行った。その結果については、認証評価結果への付記事項として取りまとめたうえで、当該大学院に通知し、文部科学大臣に報告するとともに、本協会ウェブサイトを通じて公表した。

（4）ワークショップ等の取組み

本協会の専門職大学院認証評価では、評価以外にワークショップやシンポジウム等を開催することとしている。こうしたイベントは、当該分野の専門職大学院の活性化や、知名度の向上、優れた取組みの共有、関連業界との連携などを目的としたものである。

本年度は、経営系専門職大学院認証評価委員会の企画・運営により、「いま、企業がMBAに求めること」をテーマに、9月27日に第13回JUAAビジネススクールワークショップをオンラインで開催した。当日は50名を超える参加者を得て、日本及び海外のビジネススクールでMBAを取得した修了生かつ、ベンチャー企業の経営者を招いて活発な意見交換が行われた。なお、公衆衛生系専門職大学院認証評価委員会において、新型コロナウイルス感染症が終息した場合、2022（令和4）年度末にワークショップを開催する方向で、企画に関する意見交換を行った。

4. 分野別評価

本協会では、専門職大学院認証評価以外の分野別の教育評価事業として、2017（平成 29）年度より獣医学教育評価、2021（令和 3）年度より歯学教育評価を実施している。

（1）獣医学教育評価

本年度は、獣医学教育評価において、2 課程（共同教育課程として設置）からの申請があり、獣医学教育評価委員会の下に、分科会を設けた（「参考資料 2022（令和 3）年度理事会・評議員会・委員会 名簿」参照）。

獣医学教育評価委員会において、評価の実施に先立ち、本年度の諸方針を策定・確認した。その後、評価者に対するセミナー等をオンデマンド及び WEB 会議で開催し、評価の方法・内容や遵守すべき事項などの周知を図った。そして、分科会により書面評価及び実地調査を実施した。

分科会による評価作業が終了した後には、公正かつ妥当な評価となるよう、獣医学教育評価委員会において慎重に議論を進め、評価結果（委員会案）を作成し、申請大学及び課程に送付した。つづいて、意見申立の手続を経て、同委員会において評価結果（案）を作成した。

評価スケジュール

月	内容等
5 月～6 月	評価者研修セミナーの実施 （オンデマンドでの資料提供、各分科会での WEB 会議）
8 月	分科会の開催 （メール審議及び各分科会での WEB 会議）
10 月～11 月	実地調査の実施 （いずれの申請大学へも現地訪問を実施した）
12 月	評価結果（委員会案）の作成及び申請大学・課程への同案提示
1 月	評価結果（委員会案）に対する大学からの意見について採否を審議（意見の申し立てはなかった）

理事会における審議の結果、2 課程を獣医学教育に関する基準に適合していると認定した。

2021（令和 3）年度獣医学教育評価の結果等（五十音順）

種別	設置形態	大学名	判定
獣医	国立	岩手大学 農学部 共同獣医学科	適合
	国立	東京農工大学 農学部 共同獣医学科	

※岩手大学と東京農工大学による共同教育課程として設置

（２）歯学教育評価

本年度は、歯学教育評価において、評価申請がなかったため、歯学教育評価準備委員会と合同のもとで、「歯学教育に関する基準」及び評価方法の妥当性を検証すべく、試行評価を2021年1月～9月の期間で実施した。試行評価においては、1の国立大学歯学部及び1の私立大学歯学部の協力を得て、本評価と同じプロセス・体制で評価を実施し、試行評価結果を大学へ通知した。

試行評価の結果を踏まえ、「歯学教育に関する基準」の改定は必要ないと判断し、評価プロセスにおいては十分な実地調査を行うために実施期間等を見直したほか、歯学教育課程における自己点検・評価の効率化・促進を図るために評価基準に関するポイントの修正を行った。また、7月下旬には29の歯学部・歯学教育課程に対して、歯学教育評価の概要及び申請準備についての説明会をオンラインで実施し、その際の映像等を本協会ウェブサイトにて公開した。

Ⅱ. 調査研究事業

本年度の調査研究事業は、1. 大学評価に関する調査研究、2. 大学評価研究所の活動、3. 文部科学省の諸審議会等への対応、4. 所蔵資料のアーカイブズ化への取組みを中心に実施した。

1. 大学評価に関する調査研究

前年度に大学評価を受けた大学に対して、「大学評価の有効性に関する調査」（アンケート調査）を行った。本年度は、認証評価第4期に向けて大学評価の改善に向けた検討を始める年にあたっていたことから、「大学評価に関する有効性調査」は、2018（平成30）年度及び2019（令和元）年度に受けた大学に対しても再度実施し（アンケート及びインタビュー）、一定期間経過後の状況を検証した。

イベントとしては、大学評価委員会委員、大学評価分科会委員登録者及び財務評価分科会委員登録者を対象とする大学評価シンポジウムを、3月に実施した（テーマ「基準4「教育課程・学習成果」―特色ある教育の充実と学習成果の向上につなげるために―」。参加者：274名）。また、正会員校の学長や副学長を主な対象とする学長セミナーを、「選ばれる大学―世界に向けて・地域とともに―」をテーマに12月に開催した（参加者：114名）。

2. 大学評価研究所の活動

本年度は、昨年度に引き続いて「達成度評価のあり方に関する調査研究」及び「効果的オンライン教育のあり方と評価基準・視点に関する調査研究」を実施し、9月には最終成果を得た。また、これら2つの調査研究が終了したことを受け、新たに、「教学マネジメントに関する調査研究」及び「学士課程教育における現代社会で求められている課題に対応する能力育成に関する調査研究」を立ち上げた。

大学評価研究所によるイベントとしては、公開研究会を11月に、研究所大会を2月に実施した。公開研究会は、「大学の「学習成果」を再考する」をテーマとし、研究発表だけでなく参加者を交えた意見交換等も行った（参加者：185名）。研究所大会は、「オンライン教育のあり方を考える―パンデミック下での経験と今後―」をテーマとしたもので、「効果的オンライン教育のあり方と評価基準・視点に関する調査研究」の成果を踏まえた内容だった（参加者数：270名）。

冊子等の刊行としては、まず、大学評価研究所の紀要である『大学評価研究』第20号と『大学職員論叢』第10号を刊行した。また、『大学評価研究』に関しては、2022（令和4）年度に刊行する第21号の原稿募集を行い制作に入った。刊行した冊子等は、一般に有料頒布するとともに、正会員及び賛助会員各校にも送付した。また、第17号目となるJUAA選書『「学習成果」可視化と達成度評価の現状・課題・展望』（仮）の刊行に向け、準備に入った。

2021（令和3）年度大学評価研究所関連刊行物一覧

名称	刊行時期
『大学評価研究』（第20号）	2021年10月
『大学職員論叢』（第10号）	2022年3月

3. 文部科学省の諸審議会等への対応

専門職大学院における専任教員、主に実務家教員数を巡る問題が見られるため、制度改善等の意見書を9月に文部科学省に提出した。また、文部科学省からの依頼に基づき、「質保証システム部会における認証評価制度の見直しの方向性に関する意見書」を取りまとめ提出した。

4. 所蔵資料のアーカイブ化への取り組み

本協会が所蔵する戦後改革期以降の資料について、多くの研究者が研究資料として活用できるよう、その体系的整備を進めている。本年度は、第四次法人化文書1998（平成10）年以降の文書について撮影とリスト・目録作りを行った。なお、外部からの閲覧希望については、新型コロナウイルス感染症予防の観点から局内での対応を中止し、必要な部分のデータを当人に提供する形で資料の有用な活用を図った。

Ⅲ. 国際化事業

本年度の国際化事業については、1. 海外の質保証機関との交流等の推進、2. 共同認証、3. 海外への情報発信及び国際会議への参加、4. INQAAHE の GGP アラインメントの受審準備を中心として、事業を実施した。

1. 海外の質保証機関との交流等の推進

Taiwan Assessment and Evaluation Association (TWAEA) 及びOffice for National Education Standards and Quality Assessment (ONESQA) との連携協定に基づき、合同職員研修を7月にWEB会議システムを利用し開催した。本年度の研修には、クロアチアのAgency for Science and Higher Education (ASHE)を招待し、4機関でコロナ禍での評価の現状、ポストコロナ後の評価の展望等について意見交換を行った。

また、TWAEA、ONESQA及びCenter for Education Accreditation, Vietnam National University Ho Chi Minh City (CEA VNU-HCM) と協力し、日本・台湾・タイ・ベトナムの大学生を対象に学習満足度に関する調査を行い、「台湾・日本・タイ・ベトナム 大学生学習成果と満足度調査報告書」として取りまとめ、調査協力大学に対して同報告書を送付し、本協会ウェブサイト（会員専用ページ）に公表した。

Higher Education Evaluation and Accreditation Council of Taiwan (HEEACT) 及びONESQAとの協力協定を更新した。

このほか、WEB会議システムを利用し、TWAEAとONESQAとは、各機関の評価における取り組みや共同認証等の意見交換を定期的に実施した。

2. 共同認証

共同認証プロジェクトへのONESQAの参画に伴い、新たに制作したリーフレットを正会員大学に配布し、10月に日本の大学を対象にしたプロジェクト説明会をオンラインで実施したほか、共同認証評価委員会（TWAEAとONESQAとの合同会議体）の会合を11月に開催した。委員会では委員長及び副委員長の選出、共同認証に関する規程（英語版）の策定、タイの大学の試行評価に向けた準備状況、今後の共同認証のプロモーション活動などが審議された。

3. 海外への情報発信及び国際会議への参加

海外への情報発信に関して、2020（令和2）年度の各評価結果の概要を取りまとめた英文資料を作成し、本協会が加盟しているInternational Network for Quality Assurance Agencies in Higher Education（INQAAHE）、Asia-Pacific Quality Network（APQN）及びAssociation of Asia-Pacific Business School（AAPBS）やMOU締結機関に送付した。また、TWAEA及びONESQAとの合同職員研修や評価結果の英訳版の公表に関する記事がINQAAHEのBulletinに掲載された。このほか、法科大学院基準及び歯学教育に関する基準の英訳版を

作成し、本協会ウェブサイト（英語サイト）に掲載した。

INQAAHE及びAPQN主催の会議やワークショップに参加した。また、INQAAHEのGuidelines for Good Practiceの改訂に向けたアジア太平洋地域の質保証機関間の意見交換会に参加した。さらに、4月にはインドのNational Assessment and Accreditation Council (NAAC)が主催した会議で職員が発表を行った。

4. INQAAHEのGGPアラインメントの受審準備

質保証機関としての質を国際的に証明するため、本協会が正会員として加盟しているINQAAHEが実施する外部評価であるGuidelines for Good Practice (GGP)アラインメントを受審することを決定した。今年度は、受審に向けて、自己点検・評価委員会を中心に、GGP基準に基づく自己点検・評価を行い、報告書を取りまとめるとともに、その英訳化を進めた。

IV. 法人運営関連事業

本年度の法人運営関連事業は、1. 正会員資格判定、2. 広報活動、3. 本協会職員等の資質向上に向けた取組み、4. 本協会の組織体制の強化に向けた取組み、5. 事業サポートの強化に取り組んだ。

1. 正会員資格判定

本年度は、2 大学（桃山学院教育大学、天理医療大学）及び1 短期大学（中村学園大学短期大学部）より正会員への加盟申請がなされ、大学評価、再評価、短期大学認証評価の結果、それぞれ新たに正会員への加盟が認められた。なお、正会員資格判定委員会が審議を行うべき案件は発生しなかった。

2. 広報

本年度は、7 月及び 11 月に広報委員会を開催し、広報誌『じゅあ J U A A』の構成や、広報戦略に基づく広報活動の現状について審議した。

まず、事業や財務、会員、組織等に関する情報を取りまとめた『会報』及び広報誌『じゅあ J U A A』の刊行を行った。いずれも、会員大学や関係機関に送付するとともに、『じゅあ J U A A』については刊行後すみやかに本協会ウェブサイトで公開した。

2021（令和3）年度広報関連刊行物一覧

名称	刊行時期	部数	内容
『会報』（第 103 号）	2021 年 9 月	7,400 部	定款、事業報告・事業計画、決算・予算書類、会員、組織等
『じゅあ J U A A』（第 67 号）	2021 年 9 月	53,000 部	巻頭言、高等教育関連記事、諸活動の報告、書評等
『じゅあ J U A A』（第 68 号）	2022 年 3 月	50,500 部	巻頭言、JUAA の事業関連記事、高等教育関連記事、諸活動の報告、書評等

また、高等学校の教員や高校生等に大学評価をはじめとする本協会の活動に対する認知度を高めるため、全国高等学校進路指導協議会（全高進）の会長等と相談する機会を設け、全高進によるセミナー等において、7 月、11 月、3 月に大学評価結果の読み方に関する講演を行った。

さらに、広報戦略に基づき、SNS 等を利用した情報提供の充実に向けて、2021 年 5 月にはウェブメディアである note に公式ページを開設し、毎月 3 本程度の記事を継続して更新した。

加えて、本協会における評価事業を周知するとともに、評価を受けた大学の長所を社会に広報するために、本協会ウェブサイトにも、長所・特色を検索できる機能を新設した。本年度は 2020 年度に受審した分を公表し、今後、2018 年度以降に受審した大学等の全評価結果の長所・特色を検索できるように準備を進めた。

3. 本協会職員等の資質向上に向けた取組み

本協会職員と大学職員等（研修員¹及び本協会での研修修了者）とが交流し、国内外の高等教育を取り巻く諸課題について互いに研究することを目的とした「大学職員等と大学基準協会職員との合同研修会」を11月に開催した。本年度は、「オンライン教育の質保証を考える」というテーマの下、大学職員2名によるオンライン教育の事例報告、本協会職員によるアンケート調査結果の概要説明を行った後、グループディスカッションを行った（参加者：52名）。このほか、OJTのみでは修得することが困難なスキルを涵養することを目的として、早稲田大学アカデミックソリューションが提供する研修プログラムに職員13名（研修員5名を含む）が参加した。

4. 本協会の組織体制の強化に向けた取組み

本年度は、「2020-2024 年度中期目標・中期計画」に沿ってアクション・プランを作成し、今後の計画を具体化するとともに、同プランに基づき、各部署において業務を遂行した。また、年度末には、本年度のプランの達成状況について自己点検・評価し、「アクション・プラン振り返りシート」を取りまとめた。

また、理事会において会員制度と会員サービスの見直しについて正会員資格判定委員会に諮問することが決定したことから、同委員会において会員制度の意義等について審議を重ねるとともに、日本の全大学・短期大学に対し、本協会の会員サービスに関するアンケート調査を行った。今後は、アンケート結果を踏まえ、より魅力的な会員制度と会員サービスについて、検討を進めていく予定である。

さらに、事務局体制の充実を目指し、本年度は2名の職員を新たに採用したほか、新卒者3名の採用を内定した。

5. 事業サポートの強化

昨年度に引き続き、本年度も新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの事業運営となったが、すでに十分な経験があり、在宅勤務やWEB会議にも十分慣れていたことから、これらのオンライン主体の業務をさらに充実させるための環境整備を行った。具体的には、職員の業務用PCをすべて軽量なモバイルタイプに入れ替えたほか、WEB会議用のカメラ、マイクスピーカー、モニター等の備品類を拡充した。

また、4階会議室の音響設備を更新し、会議用の椅子をリプレースするなど、施設・設備の修繕等に取り組み、本協会ビル長期修繕計画の見直しのため、建設会社に建物の損耗状況等に関する調査を依頼した。

¹ 本協会では、正会員大学等に所属する職員を研修員として受け入れ、認証評価制度及び本協会の大学評価システム等について研修を行う「研修員制度」を設けている。研修期間中は、1年間の研修プログラムを通じて、認証評価の実務に携わるだけでなく、高等教育に係る諸問題を取り上げた研修会等に参加する。

事業報告の内容を補足する重要な事項

2021 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。

2022（令和 4）年 6 月

公益財団法人 大学基準協会

参考資料 2021年度理事会・評議員会・委員会名簿

(2022年3月31日現在)

1. 理事会

役 名	氏 名	所 属 名
会 長	永 田 恭 介	筑 波 大 学
副 会 長	村 田 治	関 西 学 院 大 学
副 会 長	山 崎 光 悦	金 沢 大 学
常務理事	高 橋 裕 子	津 田 塾 大 学
常務理事	畑 山 浩 昭	桜 美 林 大 学
常務理事	益 一 哉	東 京 工 業 大 学
常務理事	松 尾 太 加 志	北 九 州 市 立 大 学
理 事	荒 川 一 郎	学 習 院 大 学
理 事	石 崎 泰 樹	群 馬 大 学
理 事	石 橋 達 朗	九 州 大 学
理 事	伊 藤 慎 一 郎	工 学 院 大 学
理 事	植 木 俊 哉	東 北 大 学
理 事	植 木 朝 子	同 志 社 大 学
理 事	兼 子 良 夫	神 奈 川 大 学
理 事	熊 谷 嘉 隆	国 際 教 養 大 学
理 事	芝 井 敬 司	関 西 大 学
理 事	田 中 愛 治	早 稲 田 大 学
理 事	塚 本 泰 司	札 幌 医 科 大 学
理 事	仲 谷 善 雄	立 命 館 大 学
理 事	中 山 俊 憲	千 葉 大 学
理 事	半 藤 英 明	熊 本 県 立 大 学
理 事	廣 瀬 克 哉	法 政 大 学
理 事	藤 垣 裕 子	東 京 大 学
理 事	寶 金 清 博	北 海 道 大 学
理 事	細 井 美 彦	近 畿 大 学
理 事	南 裕 子	神 戸 市 看 護 大 学
理 事	矢 口 悦 子	東 洋 大 学
監 事	徳 久 剛 史	元 千 葉 大 学
監 事	三 木 義 一	元 青 山 学 院 大 学

2. 評議員会

役 名	氏 名	所 属 名
評 議 員	新 井 英 夫	松 山 大 学
評 議 員	伊 藤 公 平	慶 應 義 塾 大 学
評 議 員	入 澤 崇	龍 谷 大 学
評 議 員	岩 切 正 一 郎	国 際 基 督 教 大 学
評 議 員	尾 池 和 夫	静 岡 県 立 大 学
評 議 員	大 澤 敏	金 沢 工 業 大 学
評 議 員	川 井 伸 一	愛 知 大 学
評 議 員	河 合 久	中 央 大 学
評 議 員	川 上 伸 昭	宮 城 大 学
評 議 員	ロバート キサラ	南 山 大 学
評 議 員	斎 藤 聖 美	ジェイ・ボンド東短証券株式会社
評 議 員	佐 藤 雅 美	神 戸 学 院 大 学
評 議 員	佐 野 慶 子	佐野公認会計士事務所
評 議 員	島 袋 香 子	北 里 大 学
評 議 員	小 路 行 彦	釧 路 公 立 大 学
評 議 員	鈴 木 厚 人	岩 手 県 立 大 学
評 議 員	大 六 野 耕 作	明 治 大 学
評 議 員	田 中 敏 宏	大 阪 大 学
評 議 員	田 中 雄 二 郎	東 京 医 科 歯 科 大 学
評 議 員	寺 野 稔	北陸先端科学技術大学院大学
評 議 員	曄 道 佳 明	上 智 大 学
評 議 員	時 任 宣 博	京 都 大 学
評 議 員	西 原 廉 太	立 教 大 学
評 議 員	ギャーリ バークレー	西 南 学 院 大 学
評 議 員	福 井 直 敬	武 蔵 野 音 楽 大 学
評 議 員	藤 澤 正 人	神 戸 大 学
評 議 員	三 上 貴 教	広 島 修 道 大 学
評 議 員	山 田 清 志	東 海 大 学
評 議 員	若 林 真 一	広 島 市 立 大 学
評 議 員	吉 田 寿 美	東京都立上野高等学校

3. 評議員選定委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員	佐 野 慶 子	佐野公認会計士事務所
委 員	曄 道 佳 明	上 智 大 学
委 員	若 林 真 一	広 島 市 立 大 学
委 員	三 木 義 一	公益財団法人大学基準協会
委 員	小 林 浩	リクルート 『カレッジマネジメント』
委 員	水 谷 工	読 売 新 聞 大 阪 本 社
委 員	山 下 善 久	山 下 法 律 事 務 所

4. 顧問

役 名	氏 名	所 属 名
顧 問	末 松 安 晴	元 東 京 工 業 大 学 長
顧 問	納 谷 廣 美	元 明 治 大 学 学 長
顧 問	西 原 春 夫	元 早 稲 田 大 学 総 長
顧 問	和 田 光 史	元 九 州 大 学 総 長

5. 基準委員会

(1) 基準委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	圓 月 勝 博	同 志 社 大 学
副委員長	木 村 彰 方	東 京 医 科 歯 科 大 学
委 員	渥 美 寿 雄	近 畿 大 学
委 員	小 名 木 明 宏	北 海 道 大 学
委 員	金 子 元 久	筑 波 大 学
委 員	熊 谷 健 一	明 治 大 学
委 員	小 出 和 代	東京都立晴海総合高等学校
委 員	小 林 浩	リ ク ル ー ト 『カレッジマネジメント』
委 員	斎 藤 聖 美	ジェイ・ボンド東短証券株式会社
委 員	佐々木 隆 志	静岡県立大学短期大学部
委 員	杉 本 和 弘	東 北 大 学
委 員	高 田 昌 代	神 戸 市 看 護 大 学
委 員	竹 内 比 呂 也	千 葉 大 学
委 員	富 田 宏 治	関 西 学 院 大 学
委 員	中 野 綾 美	高 知 県 立 大 学
委 員	花 木 啓 祐	東 洋 大 学
委 員	半 藤 英 明	熊 本 県 立 大 学
委 員	藤 井 裕 子	神 戸 教 育 短 期 大 学
委 員	藤 村 博 之	法 政 大 学
委 員	藤 村 正 之	上 智 大 学
委 員	堀 井 祐 介	金 沢 大 学
委 員	松 浦 良 充	慶 應 義 塾 大 学
委 員	村 上 賢	麻 布 大 学
委 員	柳 井 雅 人	北 九 州 市 立 大 学
委 員	吉 井 昌 彦	神 戸 大 学

(2) 大学評価システム検討小委員会名簿

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	半 藤 英 明	熊 本 県 立 大 学
委 員	佐 藤 賢 一	京 都 産 業 大 学
委 員	櫻 井 卓	東 北 学 院 大 学
委 員	下 山 昭 夫	淑 徳 大 学
委 員	堀 井 祐 介	金 沢 大 学

(3) 経営系専門職大学院基準検討小委員会名簿

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	藤 村 博 之	法 政 大 学
委 員	横 山 研 治	名 古 屋 商 科 大 学
委 員	高 田 仁	九 州 大 学
委 員	吉 村 孝 司	明 治 大 学

(4) 知的財産専門職大学院基準検討小委員会名簿

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	熊 谷 健 一	明 治 大 学
委 員	早 乙 女 周 子	京 都 大 学
委 員	橋 本 正 洋	東 京 工 業 大 学
委 員	若 林 広 二	日 本 大 学

6. 大学評価

(1) 大学評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	木 村 彰 方	東 京 医 科 歯 科 大 学
副委員長	廣 瀬 克 哉	法 政 大 学
委 員	石 崎 規 生	東京都立桜修館中等教育学校
委 員	石 堂 淳	岩 手 県 立 大 学
委 員	稲 岡 恭 二	同 志 社 大 学
委 員	大 場 昌 子	日 本 女 子 大 学
委 員	大日向 輝 美	札 幌 医 科 大 学
委 員	片 山 英 治	野 村 證 券 株 式 会 社
委 員	加 藤 知	関 西 学 院 大 学
委 員	小 林 浩	リ ク ル ー ト 『カレッジマネジメント』
委 員	駒 村 圭 吾	慶 應 義 塾 大 学
委 員	佐 野 慶 子	佐野公認会計士事務所
委 員	杉 本 和 弘	東 北 大 学
委 員	中 西 純 子	愛媛県立医療技術大学
委 員	半 藤 英 明	熊 本 県 立 大 学
委 員	藤 村 正 之	上 智 大 学
委 員	舟 川 晋 也	京 都 大 学
委 員	松 山 倫 也	九 州 大 学
委 員	水 谷 工	読 売 新 聞 大 阪 本 社
委 員	山 神 進	立命館アジア太平洋大学
幹 事	佐 藤 賢 一	京 都 産 業 大 学
幹 事	島 本 英 樹	大 阪 大 学
幹 事	白 川 優 治	千 葉 大 学
幹 事	高 田 英 一	神 戸 大 学
幹 事	半 田 勝 久	日 本 体 育 大 学

(2) 大学評価分科会

第 1 分科会

役名	氏名	所属名
主査	関口 理久子	関西大学
委員	服部 圭郎	龍谷大学
委員	松村 洋平	立正大学
委員	山田 俊	熊本県立大学
委員	松岡 尚志	創価大学

第 2 分科会

役名	氏名	所属名
主査	肥塚 浩	立命館大学
委員	清水 美憲	筑波大学
委員	中尾 泰士	北九州市立大学
委員	吉田 竹也	南山大学
委員	福嶋 隆昭	愛知学院大学

第 3 分科会

役名	氏名	所属名
主査	井関 祥子	東京医科歯科大学
委員	木戸 隆宏	佛教大学
委員	山本 仁	東京歯科大学
委員	若森 実	東北大学
委員	藤村 信隆	愛知学院大学

第 4 分科会

役名	氏名	所属名
主査	山極 伸之	佛教大学
委員	風見 正三	宮城大学
委員	花崎 知則	立命館大学
委員	宮川 基	東北学院大学
委員	近永 光章	天理大学

第 5 分科会

役名	氏名	所属名
主査	松山 倫也	九州大学
委員	藤溝 文子	神戸大学
委員	堀井 康史	関西大学
委員	脇坂 浩之	愛媛県立医療技術大学
委員	石坂 和幸	立命館大学

第 6 分科会

役名	氏名	所属名
主査	石黒 直子	東京女子医科大学
委員	瀧谷 公隆	大阪医科薬科大学
委員	野本 百合子	愛媛県立医療技術大学
委員	村上 好恵	東邦大学
委員	黒田 幸司	杏林大学

第 7 分科会

役名	氏名	所属名
主査	児玉 善郎	日本福祉大学
委員	小宮 敬子	日本赤十字看護大学
委員	滑川 道人	埼玉県立大学
委員	矢倉 千昭	聖隷クリストファー大学
委員	鈴木 英二	北海道医療大学

第 8 分科会

役名	氏名	所属名
主査	秋田 恵一	東京医科歯科大学
委員	秋元 義弘	杏林大学
委員	佐々木 幾美	日本赤十字看護大学
委員	田口 理恵	共立女子大学
委員	市原 克己	東邦大学

第 9 分科会

役名	氏名	所属名
主査	駒村 圭吾	慶應義塾大学
委員	中沢 正利	東北学院大学
委員	前田 譲治	東京理科大学
委員	向日 恒喜	中京大学
委員	石井 富江	中央大学

第 10 分科会

役名	氏名	所属名
主査	倉持 祐二	京都橘大学
委員	高橋 啓子	四国大学
委員	永井 均	広島市立大学
委員	廣瀬 誠	明治薬科大学
委員	春田 和恵	東京女子大学

第 11 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	安 田 俊 一	松 山 大 学
委 員	中 原 隆 幸	阪 南 大 学
委 員	橋 本 勝	静 岡 県 立 大 学
委 員	眞 野 泰	学 習 院 大 学
委 員	草 福 弘 樹	大 阪 経 済 大 学

第 12 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	藤 村 正 之	上 智 大 学
委 員	臼 井 実 穂 子	駒 沢 女 子 大 学
委 員	金 子 和 夫	ルーテル学院大学
委 員	北 尾 泰 幸	愛 知 大 学
委 員	根 本 和 彦	津 田 塾 大 学

第 13 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	向 井 秀 忠	フェリス女学院大学
委 員	澤 野 由 紀 子	聖 心 女 子 大 学
委 員	名 取 琢 自	京 都 文 教 大 学
委 員	溝 上 智 恵 子	筑 波 大 学
委 員	竹 内 康 弘	京 都 女 子 大 学

第 14 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	大 類 久 恵	津 田 塾 大 学
委 員	大 沼 義 彦	日 本 女 子 大 学
委 員	古 相 正 美	中 村 学 園 大 学
委 員	三 好 きよみ	東京都立産業技術大学院大学
委 員	泉 達 朗	福 岡 女 学 院 大 学

第 15 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	半 藤 英 明	熊 本 県 立 大 学
委 員	金 谷 信 子	広 島 市 立 大 学
委 員	黒 田 一 雄	早 稲 田 大 学
委 員	田 中 孝 男	九 州 大 学
委 員	石 黒 隆 文	青 山 学 院 大 学

第 16 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	朝 比 奈 英 夫	京 都 光 華 女 子 大 学
委 員	池 田 光 壱	活 水 女 子 大 学
委 員	橋 本 浩 二	岩 手 県 立 大 学
委 員	花 田 昌 宣	熊 本 学 園 大 学
委 員	高 島 隆 平	京 都 文 教 大 学

第 17 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	宮 下 毅	文 教 大 学
委 員	櫻 井 清 一	千 葉 大 学
委 員	高 井 弘 弥	武 庫 川 女 子 大 学
委 員	村 田 奈々子	東 洋 大 学
委 員	鶴 田 弘 樹	名 城 大 学

第 18 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	吉 池 信 男	青 森 県 立 保 健 大 学
委 員	内 山 治 樹	筑 波 大 学
委 員	沖 智 之	中 村 学 園 大 学
委 員	谷 井 淳 一	ルーテル学院大学
委 員	山 村 智 彦	皇 學 館 大 学
幹 事	半 田 勝 久	日 本 体 育 大 学

第 19 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	杉 本 和 弘	東 北 大 学
委 員	奥 原 雅 之	東京都立産業技術大学院大学
委 員	笠 原 浩	広 島 市 立 大 学
委 員	河 内 利 治	大 東 文 化 大 学
委 員	恒 川 孝 司	名古屋外国語大学

第 20 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	青 木 清	南 山 大 学
委 員	奥 村 由 美 子	帝 塚 山 大 学
委 員	亀 田 昌 志	岩 手 県 立 大 学
委 員	山 本 雄 吾	名 城 大 学
委 員	勝 野 友 之	大 阪 産 業 大 学

第 21 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	吉 川 洋	立 正 大 学
委 員	金 澤 哲	京 都 女 子 大 学
委 員	狩 野 徹	岩 手 県 立 大 学
委 員	吉 澤 達 也	神 奈 川 大 学
委 員	長谷川 順 子	佛 教 大 学

第 22 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	下 山 昭 夫	淑 徳 大 学
委 員	大 場 和 久	日 本 福 祉 大 学
委 員	大 平 肇 子	三 重 県 立 看 護 大 学
委 員	角 田 直 也	国 士 館 大 学
委 員	谷 川 悟 史	京 都 橘 大 学

第 23 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	大日向 輝 美	札 幌 医 科 大 学
委 員	安 藤 嘉 則	駒 沢 女 子 大 学
委 員	梶 谷 佳 子	京 都 橘 大 学
委 員	白 尾 久美子	日 本 福 祉 大 学
委 員	森 迫 宏 幸	大 阪 医 科 薬 科 大 学

第 24 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	舟 川 晋 也	京 都 大 学
委 員	秋 山 優	九 州 産 業 大 学
委 員	石 井 久 生	共 立 女 子 大 学
委 員	山 田 剛 史	関 西 大 学
委 員	大 谷 啓 輔	神 戸 学 院 大 学

第 25 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	土 屋 孝 次	近 畿 大 学
委 員	鈴 木 剛	北 星 学 園 大 学
委 員	寺 崎 友 芳	京 都 産 業 大 学
委 員	龍 有 二	北 九 州 市 立 大 学
委 員	公 門 健	西 南 学 院 大 学

第 26 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	大 橋 靖 史	淑 徳 大 学
委 員	浦 野 茂	三 重 県 立 看 護 大 学
委 員	川 崎 祐 子	同 志 社 女 子 大 学
委 員	戸 田 雅 美	東 京 家 政 大 学
委 員	吉 村 桂 太 郎	駒 沢 女 子 大 学
幹 事	島 本 英 樹	大 阪 大 学

第 27 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	稲 岡 恭 二	同 志 社 大 学
委 員	飯 田 伸 二	鹿 児 島 国 際 大 学
委 員	照 井 伸 彦	東 北 大 学
委 員	長谷川 岳 史	龍 谷 大 学
委 員	赤 司 博 文	中 村 学 園 大 学

第 28 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	佐 藤 修 一 郎	中 央 大 学
委 員	安 藤 真 次 郎	龍 谷 大 学
委 員	石 田 道 彦	金 沢 大 学
委 員	高 橋 知 也	亜 細 亜 大 学
委 員	安 田 政 志	帝 塚 山 大 学

第 29 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	中 嶋 真 也	駒 沢 大 学
委 員	佐 藤 仁	福 岡 大 学
委 員	鷹 野 一 朗	工 学 院 大 学
委 員	立 石 浩 一	神 戸 女 学 院 大 学
委 員	滝 口 宣 明	関 東 学 院 大 学

第 30 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	神 立 孝 一	創 価 大 学
委 員	宇 佐 美 毅	中 央 大 学
委 員	大 川 濟 植	桃 山 学 院 大 学
委 員	工 藤 与 志 文	東 北 大 学
委 員	手 島 秀 樹	東 京 農 業 大 学

第 31 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	渥 美 寿 雄	近 畿 大 学
委 員	川 口 吾 妻	女 子 美 術 大 学
委 員	桐 生 昭 吾	東 京 都 市 大 学
委 員	早 矢 仕 晶 子	岐 阜 聖 徳 学 園 大 学
委 員	岡 本 浩 志	京 都 産 業 大 学

第 33 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	小 舘 亮 之	津 田 塾 大 学
委 員	上 岡 美 保	東 京 農 業 大 学
委 員	小 西 啓 史	武 蔵 野 大 学
委 員	小 羽 田 誠 治	宮 城 学 院 女 子 大 学
委 員	鈴 木 孝 之	共 立 女 子 大 学
幹 事	高 田 英 一	神 戸 大 学

第 35 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	山 神 進	立 命 館 ア ジ ア 太 平 洋 大 学
委 員	杉 之 原 真 子	フ ェ リ ス 女 学 院 大 学
委 員	樋 口 雄 人	都 留 文 科 大 学
委 員	藤 岡 克 則	大 阪 産 業 大 学
委 員	村 岡 孝 之	京 都 外 国 語 大 学

第 37 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	平 栗 健 二	東 京 電 機 大 学
委 員	川 崎 寧 史	金 沢 工 業 大 学
委 員	木 室 義 彦	福 岡 工 業 大 学
委 員	調 麻 佐 志	東 京 工 業 大 学
委 員	竹 井 和 典	芝 浦 工 業 大 学

第 39 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	片 岡 洋 行	就 実 大 学
委 員	寺 地 徹	京 都 産 業 大 学
委 員	菱 沼 滋	明 治 薬 科 大 学
委 員	松 崎 勝 巳	京 都 大 学
委 員	青 山 恵	東 京 理 科 大 学

第 32 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	山 蔭 道 明	札 幌 医 科 大 学
委 員	石 原 多 佳 子	岐 阜 聖 徳 学 園 大 学
委 員	種 市 洋	獨 協 医 科 大 学
委 員	福 島 裕 子	岩 手 県 立 大 学
委 員	菅 原 光 則	神 奈 川 歯 科 大 学

第 34 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	伊 鹿 倉 正 司	東 北 学 院 大 学
委 員	村 嶋 貴 之	甲 南 大 学
委 員	木 村 朝 子	立 命 館 大 学
委 員	和 田 洋	筑 波 大 学
委 員	藤 田 由 典	関 西 大 学

第 36 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	伊 地 知 寛 博	成 城 大 学
委 員	上 林 憲 雄	神 戸 大 学
委 員	合 田 敏 尚	静 岡 県 立 大 学
委 員	関 田 一 彦	創 価 大 学
委 員	鹿 沼 行 央	東 京 家 政 大 学

第 38 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	大 嶺 智 子	杏 林 大 学
委 員	久 保 美 紀	明 治 学 院 大 学
委 員	清 水 寛 之	神 戸 学 院 大 学
委 員	中 野 綾 美	高 知 県 立 大 学
委 員	亀 山 哲 也	日 本 福 祉 大 学

第 40 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	中 西 純 子	愛 媛 県 立 医 療 技 術 大 学
委 員	小 西 敏 子	獨 協 医 科 大 学
委 員	坪 川 宏	東 北 福 祉 大 学
委 員	正 木 治 恵	千 葉 大 学
委 員	池 本 尚	北 里 大 学

第 41 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	大 場 昌 子	日 本 女 子 大 学
委 員	坂 本 健	白 百 合 女 子 大 学
委 員	平 井 達 也	立 命 館 ア ジ ア 太 平 洋 大 学
委 員	吉 田 広 毅	関 東 学 院 大 学
委 員	植 村 亜 由 美	フ ェ リ ス 女 学 院 大 学

第 42 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	上 田 陽 一	産 業 医 科 大 学
委 員	石 川 鎮 清	自 治 医 科 大 学
委 員	出 嶋 靖 志	杏 林 大 学
委 員	渡 邊 多 恵 子	淑 徳 大 学
委 員	落 合 厳 己	麻 布 大 学
幹 事	佐 藤 賢 一	京 都 産 業 大 学

第 43 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	宮 田 由 紀 夫	関 西 学 院 大 学
委 員	近 藤 敏 夫	佛 教 大 学
委 員	島 田 勝 巳	天 理 大 学
委 員	吉 木 岳 哉	岩 手 県 立 大 学
委 員	佐 藤 徹	龍 谷 大 学

第 44 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	加 藤 知	関 西 学 院 大 学
委 員	伊 藤 彰 浩	西 南 学 院 大 学
委 員	巖 越 恒	九 州 大 学
委 員	中 島 裕 喜	南 山 大 学
委 員	櫻 井 卓	東 北 学 院 大 学

第 45 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	植 村 勝 慶	國 學 院 大 学
委 員	大 中 一 彌	法 政 大 学
委 員	児 嶋 一 男	獨 協 大 学
委 員	竹 内 比 呂 也	千 葉 大 学
委 員	佐 々 木 貴 之	成 城 大 学

第 46 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	岡 田 龍 樹	天 理 大 学
委 員	大 谷 実	金 沢 大 学
委 員	野 尻 紀 恵	日 本 福 祉 大 学
委 員	走 井 洋 一	東 京 家 政 大 学
委 員	宮 澤 文 玄	学 習 院 大 学

第 47 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	舩 谷 鋭	立 教 大 学
委 員	佐 野 幸 子	福 岡 女 学 院 大 学
委 員	澤 田 道 夫	熊 本 県 立 大 学
委 員	福 永 文 美 夫	久 留 米 大 学
委 員	今 村 公 勇	法 政 大 学
幹 事	白 川 優 治	千 葉 大 学

第 48 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	石 堂 淳	岩 手 県 立 大 学
委 員	永 野 護	成 蹊 大 学
委 員	長 浜 尚 史	亜 細 亜 大 学
委 員	宮 川 裕 之	青 山 学 院 大 学
委 員	伊 従 記 章	玉 川 大 学

第 49 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	中 村 久 美	京 都 ノ ー ト ル ダ ム 女 子 大 学
委 員	上 田 和 子	武 庫 川 女 子 大 学
委 員	高 梨 芳 郎	名 古 屋 外 国 語 大 学
委 員	永 井 智	立 正 大 学
委 員	奥 村 勝 巳	淑 徳 大 学

(3) 再評価分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	黒 澤 隆 夫	北 海 道 医 療 大 学
委 員	小 塚 直 樹	札 幌 医 科 大 学
委 員	江 本 リ ナ	日 本 赤 十 字 看 護 大 学

(4) 追評価分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	安 達 洋 祐	久 留 米 大 学
委 員	内 藤 勲	愛 知 学 院 大 学
委 員	中 島 耕 一	東 邦 大 学

(5) 大学財務評価分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	小 林 慎 哉	愛 知 大 学
委 員	尾 浪 英 人	学 習 院 大 学
委 員	佐 野 慶 子	佐 野 公 認 会 計 士 事 務 所
委 員	徳 田 守	金 沢 工 業 大 学
委 員	豊 田 耕 三	立 命 館 大 学
委 員	平 井 雪 恵	立 教 大 学
委 員	福 田 直 史	高 知 工 科 大 学

大学財務評価分科会 国・公立大学部会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	吉 田 和 生	名 古 屋 市 立 大 学
委 員	杉 本 裕	筑 波 大 学

大学財務評価分科会 私立大学部会

第 1 部会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	徳 田 守	金 沢 工 業 大 学
委 員	坂 本 康 浩	関 西 大 学
委 員	白 井 久 己	東 邦 大 学
委 員	春 川 孝 行	慶 應 義 塾 大 学

第 2 部会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	平 井 雪 恵	立 教 大 学
委 員	川 野 耕	福 岡 大 学
委 員	住 本 武 司	神 戸 学 院 大 学
委 員	永 田 義 裕	北 里 大 学

第 3 部会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	豊 田 耕 三	立 命 館 大 学
委 員	和 泉 巧	東 京 理 科 大 学
委 員	真 井 誠	立 正 大 学
委 員	福 田 尚 登	南 山 大 学

第 4 部会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	福 田 直 史	高 知 工 科 大 学
委 員	大 庭 慎 二	早 稲 田 大 学
委 員	野 村 浩	東 洋 大 学
委 員	小 林 佳 子	武 庫 川 女 子 大 学

第 5 部会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	尾 浪 英 人	学 習 院 大 学
委 員	小 花 直 樹	甲 南 大 学
委 員	平 山 崇	西 南 学 院 大 学
委 員	渡 邊 泰 教	跡 見 学 園 女 子 大 学

(6) 改善報告書検討分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	堀 井 祐 介	金 沢 大 学
委 員	石 原 康 利	明 治 大 学
委 員	岡 部 雅 人	岡 部 公 認 会 計 士 事 務 所
委 員	奥 村 幸 子	日 本 女 子 大 学
委 員	栗 田 啓 子	東 京 女 子 大 学
委 員	在 間 敬 子	京 都 産 業 大 学
委 員	山 口 数 宏	同 志 社 大 学

7. 短期大学認証評価

(1) 短期大学評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	窪 田 和 美	元龍谷大学短期大学部
副委員長	安 達 励 人	倉敷市立短期大学
委 員	坂 元 昇	川崎市立看護短期大学
委 員	頭 師 暢 秀	近畿大学短期大学部
委 員	鈴 木 滋 彦	静岡県立農林環境専門職大学短期大学部
委 員	中 村 浩 二	株式会社進研アド
委 員	並 木 俊 恭	神奈川県立大和南高等学校
委 員	藤 井 裕 子	神戸教育短期大学
委 員	吉 山 尚 裕	大分県立芸術文化短期大学
委 員	米 内 靖 士	岩手県ふるさと振興部学事振興課

(2) 短期大学評価分科会

第 1 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	安 達 励 人	倉敷市立短期大学
委 員	太 田 尚 子	日本大学短期大学部
委 員	鈴 木 滋 彦	静岡県立農林環境専門職大学短期大学部
委 員	梅 岡 和 朗	龍谷大学短期大学部

第 2 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	窪 田 和 美	元龍谷大学短期大学部
委 員	坂 元 昇	川崎市立看護短期大学
委 員	森 川 竜 哉	愛知大学短期大学部
委 員	有 田 雅 一	相模女子大学短期大学部

(3) 短期大学財務評価分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	雨 宮 照 雄	元三重短期大学
委 員	大 日 方 清 剛	学校法人上智学院
委 員	永 岩 尊 暢	大月短期大学

(4) 短期大学改善報告書検討分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	吉 山 尚 裕	大分県立芸術文化短期大学
委 員	頭 師 暢 秀	近畿大学短期大学部
委 員	藤 井 裕 子	神戸教育短期大学

8. 法務系専門職大学院認証評価

(1) 法務系専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委員長 代行	小 名 木 明 宏	北 海 道 大 学
委 員	荒 木 一 郎	横 浜 国 立 大 学
委 員	上 田 廣 一	上 田 廣 一 法 律 事 務 所
委 員	加 嶋 良 行	株 式 会 社 ル ミ ネ
委 員	鹿 野 菜 穂 子	慶 應 義 塾 大 学
委 員	川 口 美 貴	関 西 大 学
委 員	小 久 保 孝 雄	京 都 大 学
委 員	鈴 木 謙 也	司 法 研 修 所
委 員	高 倉 成 男	明 治 大 学
委 員	富 井 幸 雄	東 京 都 立 大 学
委 員	中 川 深 雪	中 央 大 学
委 員	本 庄 武	一 橋 大 学
委 員	丸 山 謙 一	読 売 新 聞 東 京 本 社
委 員	三 沢 英 嗣	日 本 弁 護 士 連 合 会

(2) グローバル法務系専門職大学院認証評価分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	大 塚 章 男	筑 波 大 学
委 員	荒 木 一 郎	横 浜 国 立 大 学
委 員	高 倉 成 男	明 治 大 学
委 員	富 井 幸 雄	東 京 都 立 大 学
委 員	山 本 晋 平	日 本 弁 護 士 連 合 会 ・ 古 賀 総 合 法 律 事 務 所

(3) 法科大学院認証評価改善報告書検討分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	富 井 幸 雄	東 京 都 立 大 学
委 員	鹿 野 菜 穂 子	慶 應 義 塾 大 学
委 員	小 久 保 孝 雄	京 都 大 学
委 員	本 庄 武	一 橋 大 学

9. 経営系専門職大学院認証評価

(1) 経営系専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 等
委 員 長	藤 村 博 之	法 政 大 学
副委員長	横 山 研 治	名 古 屋 商 科 大 学
委 員	斎 藤 聖 美	ジェイ・ボンド東短証券株式会社
委 員	佐 藤 智 恵	日 本 ユ ニ シ ス 株 式 会 社 社 外 取 締 役
委 員	佐 藤 善 信	関 西 学 院 大 学
委 員	澤 田 正	兵 庫 県 立 大 学
委 員	鈴 木 竜 太	神 戸 大 学
委 員	関 口 和 一	株式会社MM総研代表取締役所長、 元日本経済新聞社論説委員
委 員	高 田 仁	九 州 大 学
委 員	高 橋 大 志	慶 應 義 塾 大 学
委 員	高 橋 文 郎	青 山 学 院 大 学
委 員	竹 田 陽 子	東 京 都 立 大 学
委 員	中 村 博	中 央 大 学
委 員	橋 本 正 洋	東 京 工 業 大 学
委 員	藤 森 義 明	CVC ア ジ ア ・ パ シ フ ィ ッ ク ジ ャ パ ン 株 式 会 社
委 員	松 本 敏 史	早 稲 田 大 学
委 員	三 宅 将 之	日 本 工 業 大 学
委 員	山 田 久	株式会社 日本総合研究所
委 員	吉 村 孝 司	明 治 大 学
委 員	米 山 祐 司	北 海 道 大 学

(2) 経営系専門職大学院認証評価分科会

第 1 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	高 田 仁	九 州 大 学
委 員	栗 本 博 行	名 古 屋 商 科 大 学
委 員	竹 田 陽 子	東 京 都 立 大 学
委 員	野 田 稔	明 治 大 学
委 員	前 田 祐 治	関 西 学 院 大 学

第 2 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	橋 本 正 洋	東 京 工 業 大 学
委 員	猪 口 純 路	小 樽 商 科 大 学
委 員	玄 場 公 規	法 政 大 学
委 員	高 橋 文 郎	青 山 学 院 大 学

(3) 改善報告書検討分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	鈴 木 竜 太	神 戸 大 学
委 員	高 橋 大 志	慶 應 義 塾 大 学
委 員	中 村 博	中 央 大 学

10. 公共政策系専門職大学院認証評価

(1) 公共政策系専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	長 畑 誠	明 治 大 学
副委員長	戸 澤 英 典	東 北 大 学
委 員	秋 山 信 将	一 橋 大 学
委 員	小 川 忠	跡 見 学 園 女 子 大 学
委 員	小 川 光	東 京 大 学
委 員	奥 和 義	関 西 大 学
委 員	窪 田 好 男	京 都 府 立 大 学
委 員	建 林 正 彦	京 都 大 学
委 員	深 尾 昌 峰	龍 谷 大 学
委 員	丸 山 剛 司	中 央 大 学
委 員	宮 脇 淳	北 海 道 大 学
委 員	山 田 治 徳	早 稲 田 大 学
委 員	西 浩 明	人 事 院 人 材 局
委 員	初 宿 和 夫	東 京 都 人 事 委 員 会

(2) 公共政策系専門職大学院認証評価分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	秋 山 信 将	一 橋 大 学
委 員	小 川 光	東 京 大 学
委 員	深 尾 昌 峰	龍 谷 大 学
委 員	山 田 治 徳	早 稲 田 大 学

11. 公衆衛生系専門職大学院認証評価

(1) 公衆衛生系専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	橋 本 英 樹	東 京 大 学
副委員長	武 林 亨	慶 應 義 塾 大 学
委 員	飯 野 奈 津 子	ジ ャ ー ナ リ ス ト
委 員	鴨 打 正 浩	九 州 大 学
委 員	佐 藤 俊 哉	京 都 大 学
委 員	高 橋 理	聖 路 加 国 際 大 学
委 員	高 橋 謙 造	帝 京 大 学
委 員	玉 腰 暁 子	北 海 道 大 学
委 員	土 野 久 憲	コニカ ミノルタ ジャパン株式会社 ヘル ス ケ ア カ ン パ ニ ー
委 員	前 田 秀 雄	東 京 都 北 区 保 健 所
委 員	前 田 光 哉	独 立 行 政 法 人 国 立 病 院 機 構
委 員	我 妻 ゆ き 子	筑 波 大 学
幹 事	堤 明 純	北 里 大 学

(2) 公衆衛生系専門職大学院認証評価分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	佐 藤 俊 哉	京 都 大 学
委 員	高 橋 理	聖 路 加 国 際 大 学
委 員	高 橋 謙 造	帝 京 大 学
委 員	玉 腰 暁 子	北 海 道 大 学

12. 知的財産専門職大学院認証評価

(1) 知的財産専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	橋 本 正 洋	東 京 工 業 大 学
副委員長	杉 村 純 子	日 本 弁 理 士 会
委 員	井 内 撰 男	元内閣府知的財産戦略推進事務局
委 員	伊 藤 寛	日 本 知 的 財 産 協 会
委 員	熊 谷 健 一	明 治 大 学
委 員	早 乙 女 周 子	京 都 大 学
委 員	城 山 康 文	日 弁 連 知 的 財 産 セ ン タ ー ア ン ダ ー ソ ン ・ 毛 利 ・ 友 常 法 律 事 務 所
委 員	杉 浦 宣 彦	中 央 大 学
委 員	平 嶋 竜 太	筑 波 大 学
委 員	三 浦 正 広	国 士 館 大 学

(2) 改善報告書検討分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	熊 谷 健 一	明 治 大 学
委 員	早 乙 女 周 子	京 都 大 学
委 員	杉 浦 宣 彦	中 央 大 学

13. グローバル・コミュニケーション系専門職大学院認証評価

(1) グローバル・コミュニケーション系専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	岩 田 祐 子	国 際 基 督 教 大 学
副委員長	築 島 史 恵	元 独 立 行 政 法 人 国 際 交 流 基 金 東 京 国 際 外 語 学 院
委 員	五 十 嵐 浩 司	大 妻 女 子 大 学
委 員	音 好 宏	上 智 大 学
委 員	木 村 茉莉子	株 式 会 社 日 経 HR
委 員	館 岡 洋 子	早 稲 田 大 学

14. デジタルコンテンツ系専門職大学院認証評価

(1) デジタルコンテンツ系専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	岡 本 吉 晴	元 法 政 大 学
副委員長	比 嘉 邦 彦	東 京 工 業 大 学
委 員	飯 塚 久 夫	株 式 会 社 ぐ る な び
委 員	生 稲 史 彦	筑 波 大 学
委 員	岩 崎 達 也	関 東 学 院 大 学
委 員	金 大 雄	九 州 大 学

(2) デジタルコンテンツ系専門職大学院認証評価分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	金 大 雄	九 州 大 学
委 員	岩 崎 達 也	関 東 学 院 大 学
委 員	豊 田 裕 貴	法 政 大 学
委 員	三 末 和 男	筑 波 大 学

15. 広報・情報系専門職大学院認証評価

(1) 広報・情報系専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	伊 藤 直 哉	北 海 道 大 学
委 員	河 井 孝 仁	東 海 大 学
委 員	宇 賀 神 貴 宏	株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ
委 員	音 好 宏	上 智 大 学
委 員	難 波 功 士	関 西 学 院 大 学
委 員	藤 本 勝 也	公益社団法人日本広報協会

(2) 広報・情報系専門職大学院認証評価分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	河 井 孝 仁	東 海 大 学
委 員	井 上 智 雄	筑 波 大 学
委 員	音 好 宏	上 智 大 学
委 員	難 波 功 士	関 西 学 院 大 学

16. 獣医学教育評価

(1) 獣医学教育評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	村 上 賢	麻 布 大 学
副委員長	滝 口 満 喜	北 海 道 大 学
委 員	奥 野 敦 史	株 式 会 社 マ イ ナ ビ
委 員	酒 井 健 夫	日 本 獣 医 師 会
委 員	志 水 泰 武	岐 阜 大 学
委 員	堀 本 泰 介	東 京 大 学
委 員	三 角 一 浩	鹿 児 島 大 学
委 員	山 脇 英 之	北 里 大 学
幹 事	中 山 裕 之	VISION VETS GROUP (VVG) Lab 元 東 京 大 学

(2) 獣医学教育評価分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	三 角 一 浩	鹿 児 島 大 学
委 員	渋谷 久	日 本 大 学
委 員	志 水 泰 武	岐 阜 大 学
委 員	山 脇 英 之	北 里 大 学

(3) 改善報告書検討分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	滝 口 満 喜	北 海 道 大 学
委 員	佐 藤 晃 一	山 口 大 学
委 員	鈴 木 浩 悦	日 本 獣 医 生 命 科 学 大 学

17. 歯学教育評価

(1) 歯学教育評価準備委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	西 原 達 次	九 州 歯 科 大 学
副委員長	羽 村 章	日 本 歯 科 大 学
委 員	荒 木 孝 二	東 京 医 科 歯 科 大 学
委 員	一 戸 達 也	東 京 歯 科 大 学
委 員	尾 松 素 樹	日 本 歯 科 医 師 会
委 員	河 野 文 昭	徳 島 大 学
委 員	近 藤 尚 知	岩 手 医 科 大 学
委 員	高 橋 信 博	東 北 大 学
委 員	山 本 一 世	大 阪 歯 科 大 学
委 員	横 江 浩 司	日 本 歯 科 企 業 協 議 会
オブザーバー	高 田 淳 子	厚 生 労 働 省
オブザーバー	成 相 圭 二	文 部 科 学 省

18. 異議申立審査会名簿

役 名	氏 名	所 属 名
審 査 長	井 上 琢 智	元 関 西 学 院 大 学
委 員	島 岡 清 美	堀 法 律 事 務 所
委 員	仙 波 憲 一	青 山 学 院 大 学
委 員	中 根 正 義	毎 日 新 聞 社

19. 大学評価研究所

(1) 大学評価研究所

役 名	氏 名	所 属 名
所 長	山 崎 光 悦	金 沢 大 学
一般研究員	江 原 昭 博	関 西 学 院 大 学
一般研究員	大 森 不 二 雄	東 北 大 学
一般研究員	金 子 元 久	筑 波 大 学
一般研究員	川 嶋 太 津 夫	大 阪 大 学
一般研究員	雑 賀 高	工 学 院 大 学
一般研究員	高 田 英 一	神 戸 大 学
一般研究員	鳥 居 朋 子	立 命 館 大 学
一般研究員	早 田 幸 政	中 央 大 学
一般研究員	堀 井 祐 介	金 沢 大 学
一般研究員	前 田 早 苗	千 葉 大 学
一般研究員	村 澤 昌 崇	広 島 大 学
一般研究員	両 角 亜 希 子	東 京 大 学
一般研究員	山 田 礼 子	同 志 社 大 学
特任研究員	石 井 洋 二 郎	中 部 大 学
特任研究員	小 田 格	中 央 大 学
特任研究員	小 林 浩	リ ク ル ー ト 『カレッジマネジメント』
特任研究員	白 川 優 治	千 葉 大 学
特任研究員	杉 森 公 一	北 陸 大 学
特任研究員	鈴 木 克 明	熊 本 大 学
特任研究員	鈴 木 典 比 古	元 国 際 教 養 大 学
特任研究員	鈴 木 久 男	北 海 道 大 学
特任研究員	生 和 秀 敏	元 広 島 大 学
特任研究員	夏 目 達 也	元 名 古 屋 大 学
特任研究員	藤 村 正 之	上 智 大 学
特任研究員	森 朋 子	桐 蔭 横 浜 大 学
特任研究員	森 田 裕 介	早 稲 田 大 学
特任研究員	安 田 淳 一 郎	山 形 大 学
特任研究員	山 本 眞 一	元 筑 波 大 学
特任研究員	工 藤 潤	大 学 基 準 協 会
特任研究員	田 代 守	大 学 基 準 協 会
特任研究員	原 和 世	大 学 基 準 協 会
特任研究員	松 坂 顕 範	大 学 基 準 協 会

(2) 大学評価研究所運営会議

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	山 崎 光 悦	金 沢 大 学
委 員	大 森 不 二 雄	東 北 大 学
委 員	金 子 元 久	筑 波 大 学
委 員	工 藤 潤	大 学 基 準 協 会
委 員	早 田 幸 政	中 央 大 学
委 員	堀 井 祐 介	金 沢 大 学
委 員	山 田 礼 子	同 志 社 大 学
委 員	山 本 眞 一	元 筑 波 大 学

(3) 達成度評価のあり方に関する調査研究部会

役 名	氏 名	所 属 名
部 会 長	早 田 幸 政	中 央 大 学
部会長代理	工 藤 潤	大 学 基 準 協 会
調査研究員	漆 原 朗 子	北 九 州 市 立 大 学
調査研究員	黒 田 一 雄	早 稲 田 大 学
調査研究員	島 本 英 樹	大 阪 大 学
調査研究員	高 田 英 一	神 戸 大 学
調査研究員	高 森 智 嗣	福 島 大 学
調査研究員	鳥 居 朋 子	立 命 館 大 学
調査研究員	堀 井 祐 介	金 沢 大 学
調査研究員	前 田 早 苗	千 葉 大 学
調査研究員	山 田 礼 子	同 志 社 大 学
調査研究員	吉 本 圭 一	滋慶医療科学大学院大学
調査研究員	田 代 守	大 学 基 準 協 会

(4) 効果的オンライン教育のあり方と評価基準・視点に関する調査研究部会

役 名	氏 名	所 属 名
部 会 長	山 田 礼 子	同 志 社 大 学
調査研究員	白 川 優 治	千 葉 大 学
調査研究員	鈴 木 克 明	熊 本 大 学
調査研究員	堀 井 祐 介	金 沢 大 学
調査研究員	森 田 裕 介	早 稲 田 大 学
調査研究員	山 本 眞 一	元筑波大学、元広島大学、元桜美林大学

(5) 『大学評価研究』編集委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	畑 山 浩 昭	桜 美 林 大 学
委 員	生 和 秀 敏	元 広 島 大 学
委 員	早 田 幸 政	中 央 大 学
委 員	堀 井 祐 介	金 沢 大 学
委 員	両 角 亜 希 子	東 京 大 学
委 員	吉 田 文	早 稲 田 大 学
委 員	田 代 守	大 学 基 準 協 会
編集幹事	工 藤 潤	大 学 基 準 協 会

(6) 学士課程教育における現代社会で求められている課題に対応する能力育成に関する調査研究部会

役 名	氏 名	所 属 名
部 会 長	山 田 礼 子	同 志 社 大 学
調査研究員	石 井 洋 二 郎	中 部 大 学
調査研究員	小 林 浩	リ ク ル ー ト 『カレッジマネジメント』
調査研究員	生 和 秀 敏	元 広 島 大 学
調査研究員	堀 井 祐 介	金 沢 大 学
調査研究員	杉 森 公 一	北 陸 大 学

(7) 教学マネジメントに関する調査研究部会

役 名	氏 名	所 属 名
部 会 長	大 森 不 二 雄	東 北 大 学
調査研究員	鈴 木 久 男	北 海 道 大 学
調査研究員	藤 村 正 之	上 智 大 学
調査研究員	森 朋 子	桐 蔭 横 浜 大 学
調査研究員	両 角 亜 希 子	東 京 大 学
調査研究員	安 田 淳 一 郎	山 形 大 学

20. 共同認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	山 崎 光 悦	金 沢 大 学
副委員長	傳 勝 利	義 守 大 学
委 員	木 村 彰 方	東 京 医 科 歯 科 大 学
委 員	横 山 研 治	名 古 屋 商 科 大 学
委 員	李 天 任	華 梵 大 学
委 員	黄 博 治	台湾機械工業同業公会
委 員	Ekachai Keesookpun	ONESQA Executive Committee
委 員	Rattachat Mongkolnavin	Committee for Development of Assessment System for Higher Education, ONESQA
委 員	Wanit Uamsr	Committee for Development of Assessment System for Vocational Education, ONESQA

21. 正会員資格判定委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	植 木 俊 哉	東 北 大 学
副委員長	前 田 早 苗	千 葉 大 学
委 員	安 達 励 人	倉 敷 市 立 短 期 大 学
委 員	白 幡 晶	城 西 大 学
委 員	中 村 浩 二	株 式 会 社 進 研 ア ド
委 員	松 岡 尚 史	創 価 大 学
委 員	水 谷 工	読 売 新 聞 大 阪 本 社

22. 広報委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	高 橋 裕 子	津 田 塾 大 学
委 員	五十嵐 浩 司	大 妻 女 子 大 学
委 員	植 村 亜由美	フ ェ リ ス 女 学 院 大 学
委 員	大 村 勝 久	静 岡 県 立 浜 松 北 高 校
委 員	小 林 浩	リ ク ル ー ト 『カレッジマネジメント』
委 員	林 祐 司	東 京 都 立 大 学
委 員	堀 井 祐 介	金 沢 大 学
委 員	工 藤 潤	大 学 基 準 協 会

23. 自己点検・評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	畑 山 浩 昭	桜 美 林 大 学
委 員	大日向 輝 美	札 幌 医 科 大 学
委 員	斎 藤 聖 美	ジェイ・ボンド東短証券株式会社
委 員	藤 村 博 之	法 政 大 学